安倍政権の暴走政治ストップ

野党と市民の共闘広げ野党連合政権を

日本共産党

大震災津波
台風10号災害

被災者の生活再建を最優先に

達増知事に来年度予算に関する申し入れ

日本共産党岩手県委員会と県議団は12月22日、達増拓也知事にたいし、２０１７年度岩手県予算に関する申し入れを行いました。菅原則勝県委員長、県議団（斉藤信・高田一郎・千田美津子）、吉田恭子衆院１区予定候補、菊池幸夫３区予定候補が参加しました。

申し入れでは、安倍政権の暴走政治をストップし、南スーダンＰＫＯからの撤退、戦争法を廃止し、立憲主義と民主主義をとりもどすこと。消費税10％増税中止、格差と貧困なくし、ＴＰＰではなく、農業と経済主権守る政治の実現―などを要望。野党と市民の共闘をさらに大きく発展させるなら、野党連合政権をつくる可能性が開かれると強調しました。

達増知事（左）に申し入れる（右から）千田県議、高田県議、斉藤県議、菅原県委員長、吉田衆院１区予定候補、菊池衆院３区予定候補、（１２月２２日）

～来年度予算要望の主な内容～

- ○「駆け付け警護」等の新任務に反対し南スーダンPKOからの撤退、戦争法廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回、立憲主義回復を政府に強く要望すること。
- ○日本と岩手の農業を破壊するＴＰＰからの撤退を強く求めること。
- ○震災関連の自殺、孤独死防止へ生活支援相談員等の増員をはかること。仮設団地と災害公営住宅に支援員を配置し、コミュニティの確立に特別の対策を講じること。
- ○子どもの医療費助成を中学校卒業まで拡充し現物給付化をめざすこと。小学校卒業（通院）までの拡充と現物給付化を実施すること。

大震災津波復興の課題では、震災関連の自殺が34人、孤独死が46人に及んでおり、災害公営住宅にも支援員を配置し、見守りとコミュニティーの確立に特別の対策を求めました。

台風10号災害被災者への医療費・介護利用料の免除措置を高く評価するとともに、在宅被災者への支援を強化するよう要望しました。

国が医療費助成を行う自治体へのペナルティーを廃止するもとで、子どもの医療費助成を小学校卒業まで現物給付で実施するよう求めました。

また、新規高卒者の県内就職率を80％に高める抜本的な対策を求めました。

達増知事は、「申し入れも参考にしながら、しっかり来年度予算への準備を進めたい」と答えました。

12月県議会

台風10号被災者にも医療費免除

被災地福祉灯油6年連続実施

12月県議会が12月7日から12月20日まで開かれました。

一般質問に立った斉藤県議は、台風10号被災者の医療費・介護利用料の免除措置について、被害の甚大な3市町（宮古市・岩泉町・久慈市）での実施状況について質問。達増知事は「医療費免除は3市町で実施しており、介護利用料の減免は宮古市・岩泉町で実施している」と答えました。

一般質問に立つ斉藤県議（１２月１５日）

災害公営住宅に移った高齢者の閉じこもりや孤立化の実態を示し、孤独死を絶対に出さない立場で集会所に支援員を配置すべきと要求。県側は「検討したい」と答えました。

県民の切実な要求と9月県議会での請願採択を受け、被災地福祉灯油が6年連続で実施されることになりました。

安倍政権が強行したＴＰＰの県内農林水産業に与える影響について、県はコメの生産額が約21億円減少するとの試算を示していますが、輸入米の価格が約20％も安く販売されていたことが明らかになり、県の手法で自ら試算した結果、米の生産額は53億円も減少すると強調しました。

南スーダンＰＫＯへ派兵された自衛隊員の中には、岩手駐屯地の隊員約30人も含まれていると指摘。安倍政権が強行した安保法制＝戦争法の具体化による「駆け付け警護」等の新任務の実行で南スーダン政府軍との戦闘にもなりかねないと警鐘を鳴らし、撤退を求めるべきだと訴えました。

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2017年1月 No.149
発行：日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6
日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ
http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/

住みよい盛岡めざして

日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります

庄子春治

鈴木礼子

高橋和夫

神部伸也

鈴木　努

野党と市民の共闘発展で安倍政権打倒を

演説後、聴衆にアピールする（左から）斉藤、畑、木戸口、小西の各氏（１２月２４日）

１２月２４日、野党共闘をさらに発展させようと、滝沢市で４野党による合同街頭演説を開催。日本共産党からは斉藤県議、民進党から衆院岩手２区・野党統一予定候補の畑浩治氏、自由党から木戸口英司参議院議員、社民党から小西和子県議が訴えました。

斉藤県議は、２０１５年の知事選で当時の野党５党首が集まった「岩手は野党共闘の源流だ」と強調。参院選や新潟知事選のように「野党と市民が力を合わせれば安倍暴走政治は阻止できる」と訴えました。

ヒバクシャ署名推進岩手の会を結成

12月17日、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」をすすめる岩手の会」が結成されました。

結成会で講演する日本被団協の木戸季市事務局次長（１２月１７日）

9月県議会　被災者の医療費・介護利用料等の免除継続

小池晃書記局長、いわぶち友参院議員とともに岩泉町を訪問し、伊達町長らから話を聞く（１０月２３日）

９月定例県議会が10月27日から11月25日まで開かれました。

東日本大震災津波からの復興では、被災者の切実な要望である「被災者の医療費・介護保険利用料等の免除措置」を来年12月まで継続すると達増知事が表明しました。また内陸部への災害公営住宅整備も６市７地区に２９１戸整備する方針が示されました。

台風10号災害対策では、３回にわたる現地調査を踏まえ、大災並みの対策を強く求めました。７０２億円の補正予算が計上され、被害の大きかった３市町（久慈市・岩泉町・宮古市）の被災商工業者への支援として「地域なりわい再生緊急交付金」（約11億円）が実現しました。

台風10号被害―被災商工業者に大震災並の支援

全国初　ＴＰＰ協定批准反対の請願・意見書を採択

雇用対策では、県内最大企業のトヨタ自動車東日本岩手工場で、期間工からの正社員化は昨年の99人に続き、今年は１０１人の正社員化が実現しました。

県民から提出された請願は、継続審査となっていた「ＴＰＰ協定を国会で批准しないことを求める」請願・意見書を全国の都道府県議会で初めて採択。「安全保障関連法の廃止を求める」請願・意見書も採択しました。

教師による暴力・暴言で生徒が不登校に

真相究明へ全力をあげるよう求める

商工文教委員会で質疑に立つ斉藤県議（１１月９日）

商工文教委員会で、教師による暴言・暴力で生徒が不登校に陥った問題を取り上げ、真相究明へ全力をあげるよう求めました。

いじめによる不登校事件については、生徒・保護者からの訴えがあったにもかかわらず、学校・県教委が初動の対応を怠った点を厳しく批判しました。

さらに、教師による「体罰」が相次いでいる問題について、子どもの人権を踏みにじる行為であり、根絶をめざす抜本的な取り組みを求めました。

原発再稼働ノー！どうする核のゴミ

全国交流集会ｉｎ岩手に２７０人

11月27日、「原発再稼働ストップ！どうする核のゴミ！全国交流集会ｉｎ岩手」が開かれ、全国から２７２人が参加しました。

記念講演で訴える東京工業大学の今田名誉教授（１１月２７日）

無料法律相談

～弁護士が相談に応じます～

2月　8日（水）午後6時～8時
3月　8日（水）午後6時～8時

予約電話番号：６５１－５８８１

無料生活相談

毎週土曜日　10時～12時

場所：斉藤信事務所

県民から提出された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の賛否

	斉藤信（日本共産党）	千葉絢子（県民クラブ）	小西和子（社民党）	吉田敬子（無所属）	高橋但馬（改革岩手）	福井誠司（自民党）	樋下正信（自民党）	小野寺好（公明党）	軽石義則（改革岩手）	阿部盛重（改革岩手）
安保法制の廃止	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○
「駆けつけ警護」等新任務付与に反対	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○
ＴＰＰ批准反対	○	※	○	○	○	×	×	×	○	○
カジノ法廃止	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○

○：賛成　×：反対　※：請願に反対し意見書に賛成

斉藤信のパワフル活動日誌

【10月】

17日 議案説明会、野党共闘懇談会議
19日 県政要望を聞く会、盛岡山車推進会慰労会
20日 大運動成功めざす全直地方議員交流会
21日 障がい者スポーツ大会出席の皇太子特別奉迎
22日 希望郷いわて大会開会式（北上市）
23日 台風10号被災状況調査（小池書記局長、岩渕参院議員、県議団）
24日 陸前高田市調査（戸羽市長、市民交流プラザ、栃ケ沢災害公営住宅）
26日 矢巾町越教育長と懇談、議連議連、9月定例県議会開会
27日 県社会福祉労組定期大会
28日 地域総研講座（ＩＬＣ問題）、城東地区9条の会
29日 県生活と健康を守る会定期大会、美雲社書展鑑賞
30日

【11月】

2日 盛岡女性のつどい、中央病院望月院長と県議団が懇談
4・7・8日 県議会本会議（8日、千田美津子県議が一般質問）
9日 商工文教委員会 県医労中央病院支部と懇談
10日 復興特別委員会、商工文教委員会
11日 議連、本会議、岩手大学一祐会盛岡支部講演会、総会、旧盛短利活用期成同盟会
12日 安倍政権打倒・県民要求実現めざす県民集会、県弁護士政治連盟との懇談会
13～24日 決算特別委員会
19日 衆議院一区・3区予定候補者発表、緑ケ丘後援会
23日 城南地区第15回芋餅祭り
25日 野党共闘調整会議、最終本会議
26日 全県地方議員研修会、八日町振興会慰労会
27日 原発再稼働ストップ全国交流集会、盛岡地区宣伝カーお披露目宣伝
28日 議連、議案説明会
29日 県母親大会副知事要望・対県交渉

【12月】

1日 くずまきワインパーティー
2日 農協中央会富山常務と懇談、県政要望を聞く会
3日 都南のつどい
4日 一戸町日本共産党演説会、盛岡スポーツ人のつどい
5日 県商工会連合会永井事務と懇談
6日 議連、いわて国体感謝のつどい
7日 12月議会開会、野党共闘調整会議
8日 岩泉町台風災害調査（伊達町長、保健福祉課長、県現地課長、町商工会）
10日 渥美健三先生の思い出を語る会
11日 全建総連岩手県建設労働組合連合会定期大会
13～15日 本会議（15日、斉藤県議一般質問）
15日 歯科保健医療懇談会
16日 水産振興議員連盟・水産関係者との懇談会
18日 商工文教案委員会
20日 盛岡地区党会議
22日 議連、最終本会議
23日 岩手県党会議、城東地区9条の会
24日 達増知事への来年度予算要望書提出
25日 野党4党合同街頭演説
日本共産党演説会（田村智子副委員長、都南文化会館）